

熊本子ども囲碁便り 101

2025.1.1

NPO法人熊本子ども囲碁普及会

ホームページ: <https://kumamotoiigo.jp>

メール: kumamotokodomoigo@yahoo.co.jp

Tel/fax: 096-367-1707 (佐土原子ども囲碁教室 14:00~17:00)

【 新年のご挨拶 】

新年明けましておめでとうございます。今年も囲碁普及会の活動にご支援をいただきますよう、よろしくお願いします。

さて、私事ですが、囲碁雑誌の新年「認定100問」へ応募を20年以上続けており、正月休みは、問題と格闘しています。囲碁の効用はたくさんあって紹介しきれませんが、意外と指摘されていないのが、頭の掃除効果です。

沢山の雑事を抱えて、悩み事の多い生活していると、だんだん牡蠣殻が付いたように頭の回転が鈍くなってきます。そんな時は一旦その悩み事から離れることをお勧めします。お酒を飲んで騒いで忘れるのも一法ですが、量を間違えると逆効果になりますし、未成年は飲酒禁止です。囲碁に没頭することで、脳細胞の隅々にまで血流を流す効果があるようで、副作用がありません。

今年は正月休みが長いので、是非とも難問に挑戦してください。

NPO法人熊本子ども囲碁普及会 理事長 奥菌惣幸



明けましておめでとうございます

各教室からのご挨拶 (順不同)

各教室の先生方に①**今年の抱負** ②**囲碁をやっていてよかったこと**、について伺いました。



①少数精鋭(初級者)で頑張ります。

②私は21歳で囲碁を覚えました。小学校では、ずっと将棋をしていましたが、囲碁を覚えてからは、囲碁ばかりする様になり、どんな事より面白いと感じていました。その頃は入院していましたが、囲碁の本を何冊も読み、週末の外泊では朝から晩まで碁会所に入りびたっていました。そのおかげで、大会で六段免状まで取る事ができました。今ではたくさんの子供達と囲碁を楽しめ、棋譜解説のお仕事もさせて頂いています。囲碁友達もたくさん出来ました。本当に囲碁を覚えて良かったと思っています。

ヒカルの碁スクール阿蘇 藤崎幸次郎

①当教室では、囲碁と学習の両立、そして子どもたちにとって楽しい場所でありたいと願って指導しています。欲を言えば、県代表を教室から出したいと思いますが、まずは囲碁を楽しみ、自ら考え、教室の仲間たちと切磋琢磨しながら、お互いを高め合ってくれることが理想です。そのための道筋を示し居心地の良い教室にしていけたらと思います。

②囲碁は、人生の節目節目いろいろな選択をする上で、とても役立っています。自分で考え、自分で選択した事は、どうなっても誰のせいでもなく納得して次の一手を打つことが出来ます。僕は囲碁をしていた事で、仕事にもなり、現在では教室の子どもたちだけでなく、大学の学生たちにも囲碁の良さを教えることが出来ています。

熊本西囲碁学習教室 板井太志



2025



①生徒はやっと6名になり、昨年12月の大会で久しぶりに昇級者が3名出ました。子ども達も喜んではいしゃいでいました。週一の少ない時間ですが、少し成果が出てきました。今年も親子体験教室を開催します。

②私は週3回仲間と夢中になって碁を楽しんでいます。子ども教室と関わることで、大人の囲碁仲間30名余と交流できています。囲碁三昧の生活は一種のワクチンみたいなものになっています。悪友が近づいてきません。囲碁は私生活を律するガードマンです。今87才ですが、93才までペア碁を打つのが終活の大目標です。

尾ノ上コミセン子ども囲碁教室 田中信夫



①毎週土曜日にコミセンを借りて、囲碁を楽しんでいます。毎年同じ目標になりますが、会員増を目指して頑張りたいと思います。

②私は25年間囲碁部の顧問として多いときは30名以上の部員に教えていました。生徒たちにとって囲碁は楽しいだけでなく、学力向上など大いに役立ったと確信しています。

また、二人の子供にも、囲碁を習わせてきましたが、囲碁を通して多くの友人ができ交流を楽しんでいるようです。囲碁を覚えるときと豊かな人生をおくれると思っています。

城南子ども囲碁教室 鶴山繁實

①支部移転に伴い近くの福祉センターに会場移転しました。天井高く、空間広く、明るく、清潔感あり大満足。子ども達は移転のゴタゴタも関係なく机の下に潜り込んだり、ホワイトボードにお絵かきしたり。教材のプリントの裏にはマンガ(笑)普及か個別指導か迷いながらの教室。目標は全員昇級を目指します!!

②大会会場で試合前後に他の学校の子も達と囲碁以外の交流ができていた姿を見ると嬉しく思います。

玉名子ども囲碁教室 平江邦彦



①今年も教室のモットーは「マナーは全員有段者!」と言っても、行くのが楽しい教室の雰囲気の基本で、少々騒々しいのですが。

②私は囲碁を覚えて半世紀を越えました。仕事や旅行で日本各地に行った際には、時間を捻出してその地の碁会所に行くのが楽しみでした(気持ちは道場破りの意気込みです)。ある街で対局した方とは意気投合して飲みに行き、その後長年にわたり年賀状の交わりを続けました。囲碁を嗜んで良かったと思うのは「生涯において、多くの素晴らしい時間と知己を得ることができた」という事に尽きます。囲碁を知らない方は勿体無いと思うのは言い過ぎでしょうか。「淋しげに柿くふは碁を知らざらん」(正岡子規)

佐土原教室 渡辺利男

①当教室は、上通こども囲碁教室(芦田先生)を預かり子供達と共に育ってきました。その子供達も殆ど中学生となり、勉強、部活に忙しく、囲碁が好きで続けたくても出来ない状況。でも、時々遊びに来てくれますし、大会にも参加してくれます。現在は新しく入ってきた15級前後の4、5人が週一回ではありますが、楽しく取り組んでいます。方針としては先ず碁を好きになる事。好きになれば、自然と上達すると考えています。自分に合った目標を立てて頑張ります。

碁みそてんじん 今村敬二





①和太鼓教室も主宰していますが、力仕事で忙しくなっています。太鼓が重たいので腰に気を付けて健康でいたいと思います。子ども達も病気で歩みを止めるのはもったいない。まず健康で、囲碁や勉強を頑張るって欲しいです。今年も子どもたちがニコニコ過ごせるようにと思います。

②子ども達の成長を長く見守る事です。就学前から始めてすっかり大人になるまで沢山の成長のお手伝いが出来る事です。一緒に楽しんで、一緒に成長して。こんな素晴らしいことはないですね。

おやこ囲碁交流会 坂本新吾

①昨年は多くの子どもたちが新しく囲碁教室に来てくれました。今年は更に増えるといいなと思います。増やすための方法として、幼稚園保育園にアプローチすることと地元の月刊情報誌を活用したいと考えています。たくさん子どもたちが一生楽しく学べる『囲碁』と出会って、その魅力を発見してほしいですね。

②囲碁を長年続けてきたことは、多くの経験や色々な人とのつながりができて本当に良かったと思います。今も教室の子どもたちと囲碁で遊び、成長を見守ることが一番の楽しみになっています。もし囲碁と出会っていなかったら、テレビゲームとパチンコに明け暮れる単調な日々を送っていたかもしれません。

日本棋院人吉球磨支部教室 藤川雅朗



①私共の教室は年長組、1年生、2年生が全体の半数位占めています。本年は、如何に楽しく、切磋琢磨して、継続して頑張っていけるかを課題にしています。

囲碁が上達するとマナーも備わってきますが、如何に集中して碁盤に向き合わせるかを色々思考錯誤してやろうと思います。自分なりの目標を決めさせて人と比較しないで、励ましていきたいと思います。

憧れのお兄さん、お姉さんがいますので置石を減らしながら頑張っていって欲しいです。

②教室を始めた事により、囲碁普及を通して子供達の成長にかかわれることを大変嬉しく思います。子供達のエネルギーは素晴らしいもの。元気を沢山もらっています。

熊本母と子の囲碁教室 江藤由久子

①子ども囲碁教室は、新入児童が少ないですが、一新5人の子供たちと先生方と大人の対局で子どもたちのレベルが上がっています。明るい子どもたちの笑顔溢れるパワーで、今年も楽しい教室運営に心がけてまいります。

②囲碁を始めて68年になりますが、今でも囲碁を通して先輩・後輩・教室の子ども達と家族、新しい囲碁の友達と交流できるのは囲碁を続けてきたおかげだと思っています。

一新子ども囲碁教室 毛利秀士



【 第 5 1 回 熊本子ども囲碁交流大会 】

クレスコ杯 第27回ジュニア本因坊戦 九州地区熊本大会交流戦の部

11月23日（土）クレスコ杯交流戦の部が熊本市食品交流会館にて開催されました。
参加者は80名（19路盤の部73名、13路盤の部7名）
スポンサーの（株）クレスコ様よりロゴ入り扇子を参加賞としていただきました。大会の準備、片付け等、たくさんの保護者の皆さまのご協力本当にありがとうございました。
全勝者は下記の通りです。

<19路盤の部>

岡崎奈津美（西合志南中1年）

國松 慶（帯山中1年）

岡崎健造（西合志東小5年）

緒方佑真（人吉東小3年）

有田悠真（隈庄小4年）

小山尚真（玉陵小5年）

満留里世（画図小4年）

平山晴一（出水小2年）

板井心助（城山小2年）

<13路盤の部>

田中 結（画図小5年）

村山雄太朗（力合小1年）



大会の様子



「クレスコ杯第28回ジュニア本因坊戦 九州地区熊本大会」

11月30日（土）パレア第7会議室で開催されました。

（毎日新聞主催、クレスコ特別協賛）

熊本、長崎から小、中7名が参加。トーナメント方式にて代表の座を競い久原轟大くん（長崎、精道三川台小6年）が見事優勝。久原くんは3月15、16日に毎日新聞東京本社で開催される全国大会に出場することになります。

コメント…3局とも難しく、考えることも多かったけどギリギリ勝つことができた。全国大会でも優勝を目指して頑張ります。



第29回 熊本青少年囲碁の集い

12月8日(日)第29回熊本青少年囲碁の集い(主催:熊日・熊本子ども囲碁普及会)が熊日本社で行われました。参加は19路盤の部95名、13路盤の部4名、計99名。
保護者の観戦のもと午前中4局を熱心に戦いました。13路盤の4名は最終局は指導碁を受け、いつもと違う教室の先生に緊張したり、たくさんおしゃべりをしてくれたりと微笑ましい様子がみられました。
また、帰省中の久保秀夫七段(日本棋院)から高校生3名が指導碁を受けました。
全勝者は下記の通りです。

<19路盤の部>

國松 慶(帯山中1年)
緒方佑真(人吉東小3年)
佐藤義真(一新小5年)
近藤 藍(日吉小3年)
藏谷 紬(錦西小5年)

米田千爽(人吉二中2年)
高亀兼以(河江小2年)
田上真莉香(健軍小3年)
宇ノ木響流(錦西小3年)
坂本奏輔(尾ノ上小3年)

近藤直明(尾ノ上小2年)
板井七海(城山小5年)
廣末奈子(帯山小5年)
猪山哲太(尾ノ上小1年)

<13路盤の部>

田中 杏(画図小1年)



大会の様子



久保先生指導碁



13路盤指導碁

「第14回くらしき吉備真備杯 こども棋聖戦 全国大会」

12月21、22日倉敷市で開催された全国大会で低学年代表の岡崎鉄平君(西合志東小2年)が全勝で本戦進出。本戦では惜しくも敗退しましたが、ベスト8に残りました。

熊本子ども囲碁普及会の
ホームページアドレスが
変更になりました!

<https://kumamotoiigo.jp>



【第8回 全九州高等学校総合文化祭福岡大会囲碁部門】

12月14, 15日福岡において上記大会が開催され、熊本県勢は素晴らしい結果でした。6位までの入賞で賞状とメダルを授与されました。なお、この大会は全国高等学校選抜囲碁大会九州ブロック大会を兼ねています。

<男子個人戦19路盤> **優勝** 栗山莉一（真和高2年） **準優勝** 米田伊吹（人吉高2年）
 <男子個人戦9路盤> **優勝** 米田伊吹（人吉高2年） **準優勝** 宮本将伍（熊本高2年）
 <男子団体戦> **優勝** 熊本高校
 （大将 宮本将伍 2年・副将 吉田達哉 1年・3将 木村悠聖 2年）
4位 八代高校
 （大将 小山陽輝 2年・副将 島田康平 1年・3将 植田 聡 2年）
 <女子団体戦> **5位** 熊本学園大学付属高校Aチーム
 （大将 石原明紗 2年・副将 吉戒香音 2年・3将 蒲原璃桜 1年）

※ 上位2名と熊本高校団体は3月22, 23日大阪で開催される全国大会に出場します。米田伊吹君は19路盤の部に出場。女子個人の9路盤の部で濱瑞穂さん（熊本高2年）が繰り上げ出場します。

【第一回 吉岡杯囲碁大会】

11月24日佐賀新聞社本社にて第一回吉岡杯が開催されました。これは、吉岡薫先生の九州は一つになって普及に邁進しようとの思いから発足したものです。

今回は佐賀、長崎、福岡、熊本から各県4名計16名。A、Bに別れて覇を競いました。結果は、以下の通りです。

Aクラス優勝

栗山莉一（真和高2年）

Bクラス優勝

岡崎奈津美（西合志南中1年）

両クラス共に熊本県勢が第一回目を飾る映えある優勝となりました。（江藤）



栗山くん、吉岡先生、岡崎さん

【九州・沖縄こども囲碁県別団体交流戦2024】

11月3日長崎市で開催され、6つの県が参加しました。

各棋戦の優勝者・準優勝者からリストアップされ、熊本チームは大将：岡崎奈津美（中1）副将：有働隼人（中2）中堅：佐々木圭（小6）次鋒：下東海翔（小6）先鋒：岡崎鉄平（小2）のメンバーで臨みました。

3位決定戦まで進み、対戦相手は沖縄チーム、2勝2敗と拮抗して、残りは副将戦のみ、細かくて最後まで形勢不明でしたが、半目負けで惜敗しました。残念。ただ、個人戦とは違う感覚で、皆が盛り上がったようです。

こどもの団体戦が消えていく中で、今年から始まった企画ですが、何とか存続してもらいたいですね。



佐々木君・有働君・岡崎さん・鉄平君・下東君・吉岡先生

（監督：奥園）



荒木精之記念功労者受賞

当法人理事 毛利秀士さん！

熊本県文化協会は2024年度の荒木精之記念文化功労者に2名を発表。
その一名が当法人の理事でもある毛利秀士さんです。

9月19日ホテル日航にて顕彰式が行われました。毛利さんは藤崎八幡宮例大祭神幸行列の町鉾復活や高麗門朝顔市の創設などのまちづくりに取り組み、子どもたちへの地域文化継承に尽力した功績が認められました。
囲碁においては毎週土曜日に島崎の段山八幡宮社務所で「一新子ども囲碁教室」を主宰。子ども文化会館での入門教室開催、また子ども囲碁便りに“子ども囲碁教室周辺散歩”というタイトルでその地の名まへの由来などを数回にわたり寄稿していただきました。
毛利さんのコメント…「地域文化を保存しようと願う仲間たちの代表で受賞したものと感謝しています。」



毛利秀士さん

※荒木精之記念文化功労者は、熊本の文化振興に寄与した故荒木氏を記念して2006年に創設されました。

「2025年子ども囲碁大会予定表」

期日	大会名	主催	会場
1月26日（日）	第52回子ども囲碁交流大会（ボンド杯）	熊本子ども囲碁普及会	熊本市食品交流会館
2月22日（土）	第28回全日本子ども囲碁チャンピオン戦（ボンド杯） 熊本地区予選	熊本子ども囲碁普及会	熊本市中央公民館
3月22日（土）	第53回子ども囲碁交流大会	熊本子ども囲碁普及会	熊本市食品交流会館
5月10日（土）	第54回子ども囲碁交流大会	熊本子ども囲碁普及会	熊本市食品交流会館
6月14日（土）	第4回小中学校団体戦	熊本子ども囲碁普及会	未定
7月6日（日）	第46回少年少女囲碁大会熊本県予選	熊本日新聞社	熊日本社（世安）
7月6日（日）	段級位認定戦	熊本日新聞社	熊日本社（世安）
8月10日（日）	第11回RKK少年少女囲碁将棋大会	熊本放送	パレアホール
9月20日（土）	第55回子ども囲碁交流大会	熊本子ども囲碁普及会	熊本市食品交流会館
10月4日（土）	第15回くらしき吉備真備杯子ども棋聖戦 熊本県大会	熊本子ども囲碁普及会	未定
11月1日（土）	第4回歳の差50ペア碁大会	熊本子ども囲碁普及会	水前寺共済会館
11月22日（土）	第56回子ども囲碁交流大会（クレスコ杯）	熊本子ども囲碁普及会	未定
11月29日（土）	第29回ジュニア本因坊戦九州地区熊本大会（クレスコ杯）	熊本子ども囲碁普及会	未定
12月7日（日）	第29回熊本青少年囲碁の集い	熊本日新聞社	熊日本社（世安）

※日程は変更になることもありますのでホームページでご確認ください。

■ ■ 賛助会員一覧

主旨に賛同いただき、今後も賛助会員として継続を賜りますようお願い申し上げます。



＜法人会員＞

熊本電気鉄道(株)・(株)セーフティガード・(株)コーヨークリエイト・壱の倉庫・熊本市退職校長会囲碁愛好会
(有)熊本産業・大江こども園・日本棋院玉名支部教室・(税)和光会計事務所・ルンビニー幼稚園・(株)マツオHDC
たまきな幼稚園・(株)日置・空手道 優志会・佐土原子ども囲碁教室

＜個人会員＞

有村裕・中拂達・吉田陽子・島田二美・蓼田耕太郎・元田龍一・竹屋純子・藤崎幸次郎・五師刀仁・渡辺勉・田代妙子
鶴山繁實・下地明友・下地君代・板崎京子・長田幸基・王玉徳・吉村知夏・中里勝・國松禎明・石塚正司・岩本俊雄
五師原太郎・藤川雅明・上野剛彦・山城佐知・泉美都子・定永達明・田口信夫・川上龍一・米田健一・市来信子・鎌田聡
花田武久・徳尾芳道・徳尾幸子・平山博子・今村敬二・宮本典明・本田暁美・甲谷史子・薛享元・八塚敬子・斉藤浩幸
金枝雅治・坂田海姫・福山慎二・松本寿美子・田坂照夫・磯田麗子・奥村拓司・桑原五夫・片岡不可止・岩下弘・越前浩樹
坂田祇彦・有田隆興・富田和典・安川俊文・福岡喜一郎・田上敏・歌野洋輔・古森美津代・磯谷重和・井上維・布田昭
坂口信春・坂口仁寿・則松ケイ子・安田節爾・西川哲彰・内藤美恵・笹口桂佑・平江邦彦・芦田司・江藤茂・江藤剛
松本晴子・田中耕一・倉田千佳子・佐藤富雄・田中昌・堤泰之・奥園晃・真崎伸一・副島真一郎・佐村雄二・大河内俊子
高田正利・高田理恵・瀬口良三郎・江島康・上村章浩・毛利秀士・田中信夫・秋岡廣宣・宮川秀樹・宮川哲就・内田直也
西山浩介・西山育子・(敬称略)

■ ■ 各地の教室・・・(アイウエオ順)

- 一新こども囲碁教室 (熊本市中央区新町 096-352-7639)
- 囲碁みそてんじん (熊本市中央区大江5丁目 090-8629-6103、080-1737-9298)
- 尾ノ上コミュニティセンターこども教室 (熊本市東区尾ノ上 096-340-8731)
- おやこ囲碁交流会 (熊本市南区出仲間 080-3376-0407)
- 熊本母と子の囲碁教室 (熊本市東区下江津 096-370-2263)
- 熊本西囲碁学習教室 (熊本市西区城山大唐 090-6779-5250)
- 佐土原子ども囲碁教室 (熊本市東区佐土原 096-367-1707)
- 城南こども囲碁教室 (熊本市南区城南町 0964-27-7505)
- 日本棋院玉名支部教室 (玉名市小島 090-3073-2104)
- 日本棋院人吉球磨支部教室 (人吉市合ノ原町 0966-28-3111)
- ヒカルの碁スクール「阿蘇」 (阿蘇市一の宮町宮地 050-3481-7045)



編集後記

新しい年を迎えました。昨年はプロの棋戦でも世界戦優勝など明るい話題があり、また県内の高校生もそれぞれの大会での活躍がありました。小学生・中学生も地力を付けてきています。何よりも大会には毎回100名近くの参加がありました。今年も楽しみです。

さて、私の②囲碁をやっていてよかったことですが、今の私があるのも囲碁のおかげですし、囲碁で様々な経験をさせていただきました。一番の思い出は、国際ペア戦で九州代表として出場し、あれよあれよという間に3連勝して、次の台湾ペアにも優勢に進めて「まずい！このままでは決勝にすんでしまう」とネガティブな発想になり、素直に受ければ良いところを少しちょっかいを出して負けたことです。「ただ受けるだけでよかったのに・・・」と今でも悔やむばかりです。ただそれも囲碁の面白さの一つかと思います。いづれにしても、囲碁によって人生が充実していることは間違いありません。(内田)